



報道発表資料

2011年11月29日
フォーティネットジャパン株式会社

米国時間 2011年11月22日に発表されたプレスリリースの抄訳です。

FortiClient が Virus Bulletin 誌の 23 回目の VB100 アワードを受賞

エンドポイント セキュリティ ソリューションである FortiClient が、
ヒューリスティックエンジンによる確実な検知率の向上が評価され、VB100 認定を獲得

ネットワークセキュリティのリーディングプロバイダーであり、UTM (Unified Threat Management : 統合脅威管理) ソリューションの世界的リーダーである、フォーティネット (Fortinet, Inc. 本社 : 米国カリフォルニア州サニーベール NASDAQ : FTNT)は本日、FortiClient エンドポイント セキュリティ ソリューションが Antivirus アワードで 23 回目の Virus Bulletin 認定を受賞したことを発表しました。

Virus Bulletin 誌は、FortiClient に加えて、複数の国から提出された 43 機種のエンドポイント セキュリティ ソリューションをテストしました。

Virus Bulletin 誌のテストチーム ディレクターである John Hawes 氏は次のように述べています。「FortiClient は今月、素晴らしいパフォーマンス結果でした。RAP テストの検知項目において驚くほどの改善が見られ、弊社の一連の認定項目を誤検知することなく完璧にクリアしました。新しい Extended WildList の検知を完璧にこなした数少ない製品の 1 つです。さらに、この製品は、弊社の集中テスト環境における高負荷の状態においても、簡単かつ柔軟に稼働することを実証したことに加えて、確かな信頼できるスループットを達成しました。」

フォーティネットのプロダクト マーケティングのバイスプレジデントである Patrick Bedwell は次のように述べています。「FortiClient が常に Virus Bulletin 誌の「In the Wild」脅威を 100%検知していることを誇りに思いますが、弊社の RAP (Reactive and Proactive) スコアの顕著な改善が行えたことはさらに光栄です。プロアクティブ検知において実績が

向上していることは、365日24時間対応している世界中の FortiGuard 脅威調査チームの絶え間ない努力とともに、弊社の脅威対策エンジン開発チームの甚大な努力の証明です。

FortiClient はエンタープライズレベルのエンドポイント セキュリティ スイートであり、弊社の FortiGate 製品ラインに搭載されているのと同じアンチウイルス テクノロジーを搭載しています。FortiGate アプライアンスと連携して使用されることで、FortiClient は広範なセキュリティ機能を提供し、企業のネットワークを保護するとともにポリシー コンプライアンスを確保します。お客様はその用途に合わせて自在に FortiClient を導入することができます。FortiClient を導入することで、セキュアなリモートアクセス接続を実現することもでき、また FortiClient Premium を導入することで、エンタープライズクラスの広範なエンドポイントセキュリティを実現することもできます。接続性重視か、アンチマルウェア重視かのいずれかの選択を強いる、他のセキュリティ クライアントとは異なって、フォーティネットの FortiClient は完璧なプロテクションとコスト削減の両方のための最善の組み合わせを実現します。

フォーティネットについて (www.fortinet.com)

フォーティネットは (NASDAQ: FTNT) ネットワーク セキュリティ アプライアンスのワールドワイド プロバイダであり、統合脅威管理 (UTM) のマーケット リーダーでもあります。フォーティネットの製品とサブスクリプションサービスは、ダイナミックなセキュリティ脅威に対抗する広範で高性能な統合プロテクション機能を提供しつつ、IT セキュリティ インフラの簡易化も実現します。フォーティネットの顧客には、米フォーチュン誌が選出する 2010 Fortune Global 100 の大部分を含む世界中の大規模企業、サービスプロバイダ、行政機関が名を連ねています。フォーティネットのフラグシップである FortiGate 製品は ASIC による高速なパフォーマンスを誇り、アプリケーションやネットワークの脅威から保護する多層セキュリティ機能が統合されています。フォーティネットの幅広い製品ラインは UTM にとどまらず、エンドポイントからデータベースやアプリケーションなどの境界やコアに至る大規模エンタープライズのセキュリティを保護します。フォーティネットは本社をカリフォルニア州サニーベールに構え、世界中にオフィスを展開しています。

Copyright© 2011 Fortinet, Inc. All rights reserved. ® と ™ のマークはいずれも、Fortinet, Inc.、その子会社および関連団体の米国における登録商標および未登録の商標であることを示します。フォーティネットの商標には、Fortinet、FortiGate、FortiGuard、FortiManager、FortiMail、FortiClient、FortiCare、FortiAnalyzer、FortiReporter、FortiOS、FortiASIC、FortiWiFi、FortiSwitch、FortiVoIP、FortiBIOS、FortiLog、FortiResponse、FortiCarrier、FortiScan、FortiAP、FortiDB、FortiWeb などがありますが、これだけにとどまりません。その他の商標は、各所有者に帰属します。フォーティネットは、サードパーティに帰する本書での声明や認可について中立的な立場で実証してはならず、またフォーティネットはそのような声明を保証することはありません。本ニュースリリースには、不確実性や仮説を伴う前向きな内容が含まれている場合があります。不確実性が現実になったり、あるいは仮定が正しくないことが判明したりした場合、そうした前向きな声明や仮説で表明または暗示された内容とは実質的に結果が異なる場合があります。史実に関する声明を除くすべての声明は、前向きな声明であると判断されるべきものです。フォーティネット

トは、どの前向きな声明についても改正する義務を負わず、またこれらの前向きな声明を改正する方針もありません。